

秋のコンサート

ウィーンの薫りと情感溢れるソプラノ 金井隆子
壮大な表現力と完璧なテクニック ゴラン・フィリペツ

<第1部> ソプラノ：金井隆子

ピアノ：杉本直登

多忠亮：宵待草 1番 竹久夢二 作詞

2番 西条八十 作詞

リスト：おお、愛せるかぎり愛せよ！

(愛の夢第3番原曲)

リスト：愛の夢 第3番 変イ長調 S.541 (ピアノソロ)

マスネー：泣け 我が瞳よ！ (オペラ ル・シッド)

ジョルダナーノ：母も亡くなって

(オペラ アンドレア・シェニエ)



<第2部> ピアノ：ゴラン・フィリペツ

リスト：ハンガリー狂詩曲第10番

リスト：ヴェルディ：「リゴレット」による
演奏会用パラフレーズ (ヴェルディ)

リスト：ハンガリー狂詩曲第2番

リスト：シューベルト 第4曲 魔王 (G. フィリペツ版)

リスト：シューベルト 第1曲 セレナード S.559a

リスト：6つのシューベルトの歌曲 第6曲 鱒 (ます)

日時 2023年9月9日(土) 開演 18:00 (開場 17:40)

会場 東京国立博物館 平成館ラウンジ (西門よりご入場ください)

※詳細は裏面をご参照ください

料金 5,000円(税込) 全席自由

<チケット> 東京国立博物館 正門チケット売場(窓口)にて購入可能

販売期間 2023年7月4日(火)～9月9日(土)

販売時間 開館日の9:30～閉館の30分前まで

※月曜休館(祝休日の場合は開館、翌平日休館)。臨時開館あり。

※販売時間は日によって異なります。開館日・開館時間についての詳細は東京国立博物館
ウェブサイトをご確認ください。(東京国立博物館ウェブサイト <https://www.tnm.jp/>)

お問合せ TEL 03-3822-1111 (代表) 東京国立博物館 総務課渉外開発担当

※月～金曜日の9:30～17:00(土日・祝休日は除く)

※公演当日に限り、本公演のチケットで総合文化展をご覧いただけます。ただし、17:00で閉館となりますので、
ご観覧後にコンサートを鑑賞される場合は、正門よりご退館後、開場時刻に西門よりご入場ください。

主催 東京国立博物館／サロン・ド・ソネット

【第1部】



ソプラノ：金井 隆子（かない たかこ）

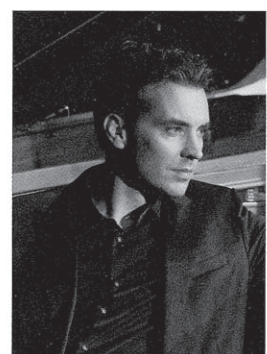
洗足学園音楽大学声楽科卒業。第21回コンセル・アミ国際オーディション入賞後、ウィーン国立音楽大学歌曲・オラトリオ科に留学。ハンス・ホッタークラスに合格し、ザンクト・ペルテン市にてリサイタルを行ったり、合唱団のソロとして、デンマーク演奏旅行をする。同時にウィーン、コンセルバトリウムオペラ科に入学し、ウィーン郊外の様々な都市にて、「後宮よりの逃走」（コンスタンツェ）、「道化師」（ネッダ）、「トゥーランドット」（トゥーランドット）、「ホフマン物語」（アントニア）を演じる。1984年ウィーン国立音楽大学を首席で卒業後、渡米。ボリス・ゴルドフスキーオペラクラス合格。ボストン市ニューイングランドコンセルバトリウムの奨学金を得て、「椿姫」（ヴィオレッタ）、「魔笛」（パミーナ）、「ラ・ボエーム」（ミミ）を演じる。1985年ボストンガードナーミュージアムにてリサイタルを行う。帰国後、洗足学園音楽大学にて後進の指導に当たる傍ら、エリー・アメリング、オリヴェラ・ミリャコヴィチ、ロートラウド・ハンスマンなどの著名な声楽家の公開レッスンを主催したり、ベートーヴェン第九交響曲のソロや、FSS主催の演奏会、様々な企業、ドイツ大使館での演奏会で歌っている。ウィーン・ブラハでも度々演奏会を行い、2011年には、ウィーンコンツェルトハウスにてブラチスラヴァ歌劇場オーケストラと協演。現在、洗足学園音楽大学講師。フランツ・シューベルトソサエティ運営委員、横浜音楽文化協会会員。飯田益巳、築地文夫、原田とみ子、江口元子、R. ショルム、K. エクビルツ、R. ハンスマン、W. クメント、H. ホッター、D. ボールドウィン、エリー・アメリング、大島貞次、片野坂栄子の各氏に師事。シューベルト合唱団主宰。全日本クラシック音楽協会の優秀指導者賞を受賞。



ピアノ：杉本 直登（すぎもと なおと）

2023年5月イタリアで行われた第31回チッタ・ディ・カントゥ国際ピアノコンクールのロマン派部門で第2位入賞。岡山県出身。洗足学園音楽大学音楽学部を首席で卒業。第14回日本演奏家コンクール第1位ならびにグランプリ（河野賞）、ファツィオリ賞、神奈川新聞社賞。第20回KOBÉ国際音楽コンクール最優秀賞ならびに神戸市長賞。第14回スガミピアノコンクール音大生・一般ソロ部門、初見部門、共に金賞ならびに全部門グランプリ。第8回ベートーヴェン音楽コンクール第1位ならびに全部門グランプリ。第17回さくらびあ新人コンクール、さくらびあ大賞。第16回日本ピアノコンクール招聘賞。第40回ピティナ・ピアノコンペティション特級ファイナリスト。洗足学園音楽大学管弦楽団、岡山フィルハーモニック管弦楽団、東京交響楽団と汐澤安彦氏、ウラディーミル・アシュケナージ氏、山上純司氏、松元宏康氏、岩村力氏の指揮で協演。ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン、一般社団法人日本ピアノ調律師協会主催新人演奏会、毎日新聞社主催日本大震災復興支援チャリティーコンサート、岡山市民会館ピアノフェスティバル、日本財団ランチタイムコンサート、ピティナ愛媛支部30周年記念コンサート等に出演。2020年まで東京ヴァンテアンクルーズレギュラーピアニストを務める。後進の指導にも尽力しており、東京国際芸術協会より優秀指導者賞を授与される。これまでにピアノを国富三善、榎野美保子、本村久子、播本枝末子、長谷正一の各氏に師事。

【第2部】



ピアノ：ゴラン・フィリペツ

1981年クロアチアのリエカに生まれ、モスクワ音楽院、ハーグ王立音楽院、ケルン音楽大学、ザグレブ音楽院に学ぶ。ナウム・グルーベルト、ナタリア・トゥルル、オクサナ・ヤブロンスカヤ、エフゲニー・ザラフィアンツに師事。マリオ・ザンフィ・リスト国際ピアノコンクール、バルナソス・ピアノコンクール、ガバラ国際ピアノコンクール、ホセ・イトウルビ国際音楽コンクール他で受賞。演奏活動のかたわら、バリ・ソルボンヌ大学、パリ国立高等音楽院博士課程において、バガニーニが影響を及ぼしたピアノ作品に関する研究を行う。ヨーロッパではもちろんのこと、アメリカ、南米、日本でも演奏。2006年にカーネギーホールでデビューを果たした後、マリインスキー劇場、ミラノ・オーディトリウム、フィルハーモニー・ド・パリ、ブダペスト国立コンサートホール、横浜みなとみらいホールなど主要な劇場、コンサートホールで演奏。なかでもマリインスキー劇場のピアノ・フェスティバルには度々招かれている。また、マルタ・アルゲリッチからの招待を受け、彼女のプロジェクトであるマルタ・アルゲリッチ・フェスティバルで演奏している。2016年には、「リスト：ピアノ曲全集第42集」（ナクソス）が、フランツ・リスト協会（Ferenc Liszt society in Budapest）からアルバムレコード大賞を授与される。リスト協会は授与にあたって、フィリペツの演奏はリスト自身も大いに評価するであろうと述べた。これによりゴラン・フィリペツは、ホロヴィッツ、アシュケナージ、シフ、ブレンデル、アラウ、コチシュ、ボリーニなどの名だたる歴代受賞者たちのなかに名を連ねた。古典派そしてロマン派の作品にレパートリーの大半を置き、輝かしい超絶技巧、燃えるような力強さと繊細な音楽性で聴衆の心を捉えている。

<会場へのアクセス>

東京国立博物館

台東区上野公園13-9

- ・ JR上野駅 公園口、鶯谷駅南口より 徒歩10分
- ・ 東京メトロ銀座線・日比谷線 上野駅 千代田線 根津駅より 徒歩15分

※西門より
ご入場ください

